



Fascination of
Plants Day
May 2021

人工光型 植物工場と私

講演者 SPEAKER

山口 夕先生
(やまぐち ゆうべ)



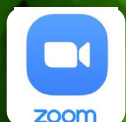
大阪府立大学は人工光型植物工場の研究拠点として活動しています。皆さんも植物工場産のレタスなどを食べられたことがあるかと思いますが、近年では天候不良や災害時においても安定した野菜生産が続けられることから需要が高まっています。しかし設備費や維持費がかかるため、なかなか黒字化が難しくまた栽培品目が少ない、露地栽培に比べて風味が弱いなど、解決すべき課題がまだまだ多いというのが現状です。実際に植物工場を動かすためには、設備や環境制御技術を開発する工学系の研究と、栽培技術を開発する農学系の研究の両方が必要です。今回は、現在行っている高品質アオジソ栽培への取組を紹介するとともに、ミクロな研究を主にしてきた私が機械系の方々と一緒に植物工場での作物栽培にトライしながら感じてきたことを紹介したいと思います。どうぞ気軽にご参加下さい。

大阪府立大学大学院
生命環境科学研究科 応用生命科学専攻
准教授（植物工場研究センター 副センター長）
博士（バイオサイエンス）
専門分野 植物生理学、分子生物学
ゲノム編集や遺伝子組換えなど、植物科学のコミュニケーション活動にも取り組んでいます。
Fascination of Plants Day をよろしく願いいたします。

2021 5.28 金

zoom によるオンラインセミナーです

入室開始 17:35
開催時間 17:50 - 19:20



お申込み

参加費：無料です。
お申込はこちらのQRコードから



特定非営利活動法人「くらしとバイオプラザ21」とは？

代表：大島美恵子（東北公益文科大学名誉教授）

副代表：正木春彦（東京大学名誉教授）

くらしとバイオプラザ21 (<http://www.life-bio.or.jp/>) は、「くらしとバイオ」の視点でバイオテクノロジーに関する情報をわかりやすく提供し対話の場創りをしています。茅場町を中心に全国各地でバイオカフェを330回以上開催。東京テクニカルカレッジ（TTC）は実験教室などに協力同法人の佐々義子常務理事はTTCのカリキュラム検討委員として、連携して活動しております。

